

IFRS 財団アジア・オセアニア オフィスの開設

2012年10月15日、IFRS財団アジア・オセアニアオフィスが東京都千代田区大手町に開設され、同年11月15日にIFRS財団及び財務会計基準機構（FASF）の共同主催により、経団連会館において記念式典が行われました。

本特集では、記念式典の主催者である萩原敏孝 FASF 理事長の挨拶の後、アジア・オセアニアオフィスの開設に協力してきた西野勇治 FASF 事務局次長より開設までの経緯、記念式典の様相について紹介させていただきます。

その後、中塚一宏金融担当大臣の基調講演を含む当日行われたスピーチを掲載しております。

そして最後に、アジア・オセアニアオフィスの初代ディレクターである竹村光広氏より就任に当たってのご挨拶をいただきましたので、紹介いたします。

（肩書きは記念式典当日のものを記載しております。）

特集

1. 開設にあたって	15
FASF 理事長	はぎわら としたか 萩原 敏孝
2. 開設までの経緯	16
FASF 事務局次長	にしの ゆうじ 西野 勇治
3. 記念式典の様相	18
FASF 事務局次長	にしの ゆうじ 西野 勇治
4. 記念式典スピーチ	22
○開会の挨拶	IFRS 財団評議員会議長 Michel Prada
○基調講演	金融担当大臣 なかつか いっこう 中塚 一宏
○グローバルな会計基準に向けての見解	IFRS 財団モニタリング・ボード暫定議長 こうの まさみち 河野 正道
	IASB 議長 Hans Hoogervorst
	ASBJ 委員長 にしかわ いくお 西川 郁生
5. アジア・オセアニアオフィス ディレクターの挨拶	46
IFRS 財団アジア・オセアニアオフィス ディレクター	たけむら みつひろ 竹村 光広

1. IFRS 財団アジア・オセアニア オフィス開設にあたって

公益財団法人財務会計基準機構 理事長 はぎわら としたか
萩原 敏孝



さる 2012 年 11 月 15 日に、IFRS 財団アジア・オセアニアオフィス開所式が行われた。開所式は当財団と IFRS 財団の共催で行われ、国際会計基準審議会 (IASB) のハンス・フーガーホースト議長、IFRS 財団の評議会のミシェル・プラダ議長をはじめ、海外より多くの来賓の方々にお越しいただき、とり行われた。

この IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスは、当財団が中心となり、多くの我が国の関係者の精力的な誘致活動により、ロンドンの本拠地以外での初めてのオフィスとして設置されたものである。開設にあたっては、日本の関係者のみならず、アジア・オセアニア地域の多数の方々のご支援をいただき、大変感謝している。

会計基準は、資本市場のインフラといわれるが、世界の資本市場が発展していくためには、投資家のニーズを満たした高品質な会計基準が必要であると考えられる。その意味で、すでに 100 か国以上に用いられている国際財務報告基準 (IFRS) を、より質の高いものへと発展させていくことは、国際的な課題であると考えら

れ、当財団及び企業会計基準委員会 (ASBJ) は、従来からその目的を達成するために、IFRS 財団や IASB の活動に協力してきている。

このオフィスは、東京に開設されてはいるが、アジア・オセアニア地域全体のオフィスであり、今後、当オフィスが、アジア・オセアニア地域の関係者の方々に有効にご活用いただけることが望まれる。

IFRS が、より質の高いものへと発展していくためには、各国、各地域の意見を、適切に集約し、IASB の基準開発に反映させていくことが肝要である。その意味で、今回、当オフィスが設けられたことは、IFRS 財団及び IASB にとっても、また、アジア・オセアニア地域の関係者にとっても、大変重要で意義深いものと考えられる。

今後、当オフィスが、アジア・オセアニア地域における、より深い協力のためのプラットフォームとして機能し、IASB の方々、アジア・オセアニア地域の方々との間で、より緊密な関係が構築されていくことを祈念している。